

{抄録様式}

財団法人 8020 推進財団 平成 23 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1 事業名	地域連携による口腔ケア事業 「入院前後には必ず口腔ケアを受けましょうキャンペーン」
2 申請者名	社団法人 印旛郡市歯科医師会 代表者氏名 永井 和広 担当者氏名 秤屋 尚生
3 実施組織	実施主体：社団法人 印旛郡市歯科医師会 協力団体：千葉大学医学部歯科・顎・口腔外科、東京歯科大学摂食・嚥下リハビリテーション地域歯科診療支援科、日本医科大学付属千葉北総病院、成田赤十字病院歯科、成田病院歯科口腔外科、八街総合病院歯科、四街道徳州会病院歯科口腔外科
4 事業の概要	印旛郡市管内及び近隣の病院と連携し、入院予定患者の口腔ケアと口腔衛生指導、入院中のセルフケアの指導を行なうこと。また病院内口腔ケア担当者に情報提供することで、入院中の有害事象を減少せしめる。そして退院後もかかりつけ医となることで、地域の中で途切れない口腔ケアを実施し地域住民の口腔保健の向上に寄与する。
5 事業内容	<ol style="list-style-type: none">① 事業の詳細について検討するため委員会を 2 回開催② 千葉大学医学部歯科・顎・口腔外科教授丹澤 秀樹先生、東京歯科大学摂食・嚥下リハビリテーション地域歯科診療支援科石田 瞭先生他、印旛郡市管内の病院歯科の歯科医師を招集し協議会を 2 回開催③ マニュアル、病診連携票、院内掲示物、患者用の作成のため委員会を 2 回開催、事業の呼称を「病診連携による 入院前・中・退院後口腔ケア」とする。④ 説明会・研修会を開催し事業内容の説明、マニュアル配付、登録歯科医の募集をおこない講演会を開催、講演名「入院患者における口腔ケアの重要性」千葉大学医学部歯科・顎・口腔外科講師 小河原 克訓先生⑤ 登録歯科医名簿の作成と協力病院への送付⑥ 各地区にて DVD による追加の説明会・研修会随時開催し名簿を随時更新⑦ 総括と次年度についての事業計画の検討
6 実施後の評価	事前に委員会を開催し細部の検討し、説明会・研修会（講演）等を行うこととした。協議会は丹澤教授、小河原講師、石田講師を始め、各協力病院歯科から歯科医の派遣を頂き活発な意見交換が行うことができた。事業の理解がしやすい様にと事業名の呼称を「病診連携による 入院前・中・退院後口腔ケア」に変更した。マニュアル作成に関してはカラー印刷を中止し、病院から歯科への情報提供書、歯科から病院への連携票を含めた。また患者説明用のチラシ、報告用書式も作成した。説明会・研修会には約 60 名の参加があり参加者全員が登録医を希望し、名簿を作成し協力病院に送付し事業をスタートした。また、追加の DVD 説明会・研修会を各地区において行ない随時、登録歯科医名簿を更新し各病院に送付した。各病院歯科においては、以前よりまして活発に医科からの依頼が来る様になり入院前・中・術後の口腔ケアの推進の一助となっていると考えられる。一方、地域の病診連携歯科医との連携はまだ十分とは言えない状態であるが、退院後の患者の口腔ケアに関しては連携がはかられているケースもあるので、ここを起点にして連携をふかめていきたい。歯科のある病院が協力病院の主なるものなので入院前患者との連携は数が限られると感じる。 今後の課題 東邦大学医療センター佐倉病院、聖隷佐倉市民病院等の病院歯科のない基幹病院が印旛郡市管内にあるので、そこでの連携事業を進めていきたい。また、精神疾患を専門に扱う病院や、市中の産科病院等とも連携を検討していきたい。